



# あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



## 新春のお慶びを申し上げます

校長 松野 泰一

**学**校の1年は4月から3月までとは言え、やはり1月は清新な思いがする特別な節目です。元日を起点にして様々なことが始まり、初詣、初釜、初売りのように「初」が付く言葉、出初め、書き初めのように「初め」が付く言葉など、1年の最初に行うことを儀式的に取り組むのは、日本の伝統的な風習です。小学生の頃、宿題だった書き初めを年末に書き終えてしまい、「書き初めの意味がわかってない!」と母親に叱られたことをよく覚えています。

「**一**年の計は元旦にあり」ということわざがあります。初日を見ながら「今年はこの年にしよう」と心新たに決意を固めることから、何事もまず初めに計画を立てることが大切だという意味で使われます。毎年、その時の自分の置かれた状況によって、「仕事がうまくいくように〇〇を続ける」「勉強で好成绩が残せるように苦手な〇〇を克服する」「健康に生活できるように〇〇を心がける」などの目標を立てることは大切です。きっとみなさんも、年の初めに新たな決意をされたのではないかと思います。

**こ**れまで、私も「今年はこの達成しよう」と目標を立てたこともありましたが、何年か前から、新年には「ゆずる、つつしむ、感謝する」という毎年同じ言葉を掲げ、1年間自分の中で心がけるための誓いの機会とするようになりました。この「ゆずる」「つつしむ」「感謝する」の3つが、

私を含めた現代人が忘れがちなことのように強く思ったからです。

**全**てがそうとは言えませんが、「自分が損をするのは嫌だ」「自分がよければいい」という、やった者勝ち、言った者勝ちの世の中になってしまっているのではないかと、思うことが多々あります。そうではなく、人の笑顔のために譲り、自分は浅ましいことをしないように慎み、そして生きて過ごせていることを周りに感謝する、そういう世の中であってほしいと願います。

**と**は言っても、いつもいつも聖人君子のように行動できるわけではありません。自分中心に考えてしまうこともありますし、感謝が足りなかったと反省することもあります。ですから元旦に、自分は昨年1年間「譲れたのか」「慎めたのか」「感謝できたのか」と省みて、まだまだ十分ではなかったので、自戒を込めて、今年も「ゆずる、つつしむ、感謝する」を忘れないようにしようと年頭に考えることが、毎年続いているのです。

**2**019年のうち平成31年は4か月で終わり、そのあとは新しい元号の元年が始まります。今年はどうのような年になるのでしょうか。天沼小学校の子どもたちが良い1年を過ごせるように、教職員一同力を合わせてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますよう、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### \*\*\* 今月の目標 \*\*\*

#### 生活

礼儀正しく過ごしましょう

#### 保健

寒さに負けず元気に過ごそう

#### 給食

食事のマナーをきちんと身につけましょう



# 1月の行事予定



## 学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介しします

12月11日に6年生は裁判傍聴と国会議事堂見学を行いました。小学生が本物の裁判を傍聴する学習は、学校と地域・保護者が連携協働する天沼小ならではの取組。支援本部は、この体験が児童にとって大切な学びであると考え、先生方とともに万全の準備をして当日を迎えます。児童は、小関弁護士によるアクティブラーニング事前学習、裁判の仕組み、傍聴の態度をしっかりと学び、また、引率保護者の方々も事前実踏をして臨みます。

児童の学びのために、多くの人たちの思いが結集している学習の一つです。



## 1月の朝遊びカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	曜	行事予定
1	火	元日
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	冬季休業日終
8	火	火曜5時間 始業式 給食始
9	水	読書 計測6 書き初め56 委員会⑨
10	木	読書 計測2こ 書き初め43 2年生木曜6時間授業始
11	金	読書 計測4
12	土	土曜授業3時間 給食なし AKA交流授業
13	日	
14	月	成人の日
15	火	全校朝会 計測3 ㊦
16	水	特時B 計測5
17	木	集会⑦ 安全指導 計測1 校内書初め展始
18	金	天沼FP245
19	土	校内書初め展 9:00~12:00&13:00~16:00
20	日	校内書初め展 9:00~12:00&13:00~16:00
21	月	全校朝会 理科出前3 校内書初め展終
22	火	天沼FP136 HSフォ
23	水	読書 12こ 火曜5時間
24	木	読書 校内百人一首大会
25	金	かけ足245 わくわく交流3 防災館見学4
26	土	
27	日	
28	月	全校朝会(図書) 読書週間始
29	火	読書 社会科見学5(7&i) HSフォ
30	水	読書34 クラブ活動⑨
31	木	午前授業(4年1組のみ5時間授業) 読書

## 学校運営協議会コーナー

### 地域と学校が連携・協働する

学校運営協議会委員 生重 幸恵

文部科学省は、学校を支援する活動を広げて学校での学びの支援にとどまらず、地域でのさまざまな活動をつなげエリア全体で見守り、関わり、参加していく人々を増やしていくことを進めています。

私たちの天沼エリアはコミュニティ・スクールです。あまぬまワンダラーズ、活発なおやじの会の活動、熱心なPTA、等々。これから望まれる

地域での協働はすでに充実した形で行われています。これからも保護者の理解と協力です子どもたちの笑顔が弾ける環境をつくっていくことが重要です。

12月の学校運営協議会は  
学校評価アンケートの質問内容について協議をしました。

# 幼・保・小連携教育について

## なぜ、幼・保・小連携？

入学に際して、子供は期待と同時に不安を抱えています。小学校でのスタート時において、幼児期に親しんだ活動を取り入れたり、分かりやすく学びやすい環境づくりをしたりすることで、子供は安心して小学校でのスタートを切ることができます。また、先生や友達と関わる活動を通して、出会いの喜びや学校の楽しさを感じることができます。こうした安心や楽しさは、小学校での生活の支えとなり、いわゆる小1プロブレムなどの予防や解決にもつながります。



### わくわく学校体験

天沼小学校では、近隣の4つの保育園と連携し、児童と園児が関わる活動を3年生が行っています。6月は、3年生が手をつないで、学校案内を行いました。園児に分かる言葉で校内を案内し、歩く速さも園児に合わせてました。最初ぎこちなく園児と接していた子供たちも、慣れてくるにしたがって園児と自然に関われるようになりました。

### わくわく図書館

10月は、「わくわく図書館」の取り組みを行いました。3年生が1人1冊絵本を選び、園児に読み聞かせをします。絵本の持ち方や読み方、間の取り方などを学校司書から教わり、練習して本番に臨みました。絵本の読み聞かせの後には、園児に感想を聞いたり、天沼小学校の図書室を案内したりしました。



2月は、国語の学習に関連して、天沼小学校の行事の紹介を行う予定です。来年度入学してくる園児に天沼小学校の魅力が伝わるように準備をしていきます。子供たちは話題を決め、どのような説明をするかを話し合います。園児にも分かりやすく、天沼小学校に入学するのが楽しみになるように準備していきます。園児のみなさんも3年生と1、2学期に仲良くなっているので、安心して活動できることでしょう。

### わくわく交流会

幼・保・小連携教育を通じて、3年生は、園児への思いやりと優しさを発揮し、相手に合わせて行動する気遣いの大切さを学びます。また、園児にとっては、「学校は楽しいところで、親切な上級生がいる。」ということを実感し、入学への期待をもつことができるようになります。

# キャリア教育

## てがね

天沼小では、2年生が1年生に教えて、牛乳パックを再利用した紙すきによるはがき作りをしています。たてわり班ごとに、2年生は順番を確認しながら直接手を出すのではなく、声をかけたり側で見守ったりしていました。感想を伝え合う場面では、2年生からは、「1年生が上手にできてうれしかった。」、1年生からは、「2年生が教えてくれたから上手にできた。」とお互いを思いやる声が聞かれました。このように交流をしながら教わったことを次につないでいく紙すき体験となっています。



## 3ねん

天沼小学校の3年生は、お店番体験を通して、「働くこととは」「働くときに大切なこととは」を学びます。教会通り商店会の協力を得て、実際にお店で働く学習です。体験するお店にインタビューをしたり、接客の練習をしたりして本番を迎えました。当日は緊張しながらも、お客様とのやり取りを楽しみ、張り切って活動する様子が見られました。将来、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための一助となればよいと考えています。教会通りの皆様とも繋がりができました。この良い関係がいつまでも続くことを願います。



## 4ねん

4年生では、一年を通し、福祉について学びます。国語の教材から発展し、点字について学び、実際に視覚障害のある方にご来校いただき、お話を聞いたり、点字を教えていただいたりしました。また、ユニバーサルデザイン(UD)についても、各々がテーマをもって調べ、発表しました。最後には、LIXILの出前授業で、町の中の施設の中に工夫されているUDについて考えたり、話し合ったりする活動を通し、理解を深めました。「UDは、特別な人のためだけの工夫ではなく、年齢、性別、国籍などを問わず、誰もが安全、簡単に使えるものである」と心が刻まれました。



## 5ねん

今学期は、2回目の品評会からのスタートとなりました。1回目からの反省を生かして臨んだ今回は、本気で商品開発に向かう子供たちの姿勢がありました。社長・副社長も決まり『株式会社シェイクハンズ』として、商品開発や販売に向けての活動を活発に行っています。商品開発の話し合いは、意見がぶつかり合う場面もあり、「よりよい商品をお客様に届けよう」という熱い思いで、一



人一人が活動しています。販売日は後日お知らせしますので、今年の商品もご期待ください!

## 6ねん

社会科見学では、午前東京地方裁判所にて裁判傍聴をし、午後は国会見学でした。事前学習として弁護士の小関先生に「裁判とは何か」や「裁判のしくみ」について教えていただき、裁判傍聴をしました。東京地方裁判所内の張りつめた空気にとっても緊張していました。「罪を犯すとどうなってしまうのか」ということを肌で感じたことで、これから生きていく社会の中での「自分の行動の責任の重さ」について深く考えるよい機会となりました。



## こだま



こだま学級では、キャリア教育の実践として、「ペットボトルキャッププロジェクト」を行っています。通常の学級にキャップを回収しに行き、それを天沼中学校に届ける活動を通して、進んで自分の仕事に取り組もうとする態度を身に付けていきます。このキャップを回収することで、医療用ワクチンに代えて、多くの命を救うことができます。また、ごみを焼却した場合の二酸化炭素も減らすことができます。地域や社会とつながり、世界の子供たちの役に立っているこの活動が、こだま学級の子どもたちは大好きで、一生懸命行っています。